

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年2月29日	2008年2月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	邦人対象の治安情報 テロなどの一般治安情報 今月の出来事 その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月も路上での暴力事件が多く報告されている。金品目当ての事件のほか、特に理由も無く襲い掛かってくるという事例も報告されているので、注意が必要である。以前に報告したHAPPY SLAPPINGの事例が未だ報告されている。このような画像を発見した場合にはただちに警察に連絡すること。トラム・ウェイと歩行者の衝突事故に関しては、今回は被害者がお年寄りであったが、トラム・ウェイ走行地区では特に周囲の状況に注意し、信号を必ず守ること。サッカーの試合の際の暴力事件も報告されている。人が多く集まるイベントなどに赴く場合には周囲に気をつけること。ダフ屋行為による被害も出ている。チケットなどは正規のルートで購入することが好ましい。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年2月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ワール県	合計
すり																	0
空き巣						1				5	1		1				8
置き引き	1																1
引ったくり		1															1
万引き																	0
強盗																	0
窃盗(車・自転車)										4		1	1				6
カージャック											1	1					2
車内盗難			1							1							2
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為		3	1	1	3	1	1	4	1	19		2	5		1		42
詐欺(カードなど)										1							1
拉致・誘拐													1				1
破損・放火										1							1
ストーカー																	0
麻薬取引・所持								1				1	2				4
飲酒/無免許運転			1	1													2
その他			1					2		1		2	1				7
合計	1	4	4	2	3	2	1	7	1	32	2	7	11	0	1	0	78

備考欄: リヨン東 Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
リヨン西 Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
リヨン南 Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
リヨン北 Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C,多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

路上における暴力の被害続く

今月も多数の路上における暴力事件が報告されている。特に未成年者による犯行が目立っている。

- 2月2日夜、リヨン8区で男女2名が住所不定の男にドライバーで脅され、財布などの貴重品を奪おうとした。男はパトロール中の警察に現行犯逮捕された。(プログレ紙2月5日付)
- 2月4日午後5時20分ごろ、リヨン2区のレピュブリック通りで21歳の男が通りかかった男性に殴りかかった。被害者が地面に倒れこんだ後も男は殴り続けた。犯人はすぐに逮捕された。(プログレ紙2月5日付)
- 2月6日午後10時30分ごろ、40歳の男性がブロン市の路上を歩行中、突然見ず知らずの男に突き飛ばされ転倒。男は被害者の男性の顔を数回殴り、ノートパソコンを奪って逃走した。(プログレ紙2月7日付)
- 2月12日午後、ヴィルユバヌ市で82歳の女性がひったくりの被害にあった際、バランスを崩して転倒。大怪我を負い、ただちに搬送先の病院で手術を受けた。その後被害者のかばんをもった15歳と17歳の少年らが警察に捕まった。(プログレ紙2月15日付)
- 2月12日午後2時25分頃、リヨン8区で36歳の男性が若者数人のグループに襲われた。男性は殴る蹴るの暴行や投石の被害を受け、持っていた30ユーロとMP3を奪われた。被害者は頭部にショックを受けたためすぐに病院に運ばれた。(プログレ紙2月14日付)
- 2月12日午後4時ごろ、リヨン2区で44歳の女性が16歳の少年による暴力を伴うハンドバックひったくりの被害にあった。犯人の少年はその後すぐにペラーシュ駅ビル内で捕まった。(プログレ紙2月15日付)
- 2月15日午前11時15分ごろ、リヨン5区にて49歳の女性が近づいてきた男に突然突き飛ばされ転倒したすきにハンドバックを奪われた。犯人はそのまま逃走、女性は打撲などの怪我を負った。(プログレ紙2月19日付)
- 2月14日午後5時30分ごろ、14歳と17歳の少年が16歳の少年に顔を殴るなどの暴行を加えMP3を奪おうとしたとして補導された。(プログレ紙2月19日付)
- 2月25日、サン＝フォン市で15歳の少年が歩行中の女性に襲い掛かり、ハンドバックをひたくって逃走した。犯人はその後すぐに捕まった。(プログレ紙2月27日付)
- 2月26日午後5時15分ごろ、ヴィルユバヌ市で歩行中の15歳の少年が後をつけてきた二人組の男に突然頭部を殴られ持っていたかばんをひたくられた。(プログレ紙2月29日付)
- 2月27日午後8時ごろ、19歳の男性が地下鉄ベルクール駅構内で3人組の男らに囲まれナイフでおどされ、携帯電話を奪われた。被害者に怪我はなかった。(プログレ紙2月29日付)

HAPPY SLAPPINGの被害いまだに

2月15日、13歳と14歳の少年が中学生に暴行を加え、その状況を録画していた罪で補導された。1月18日、カリユール市の中学校で授業終了後、校門の前で13歳の少年が同じ中学の生徒に殴る蹴るなどの暴行を加え、14歳の少年がその状況を録画した。暴行を受けた生徒は被害届けは出さなかったが、教師らがこの状況の画像を発見し警察に通報。犯人らは近く少年事件担当裁判官の召集を受ける。(プログレ紙2月19日付)

トラム・ウェイと歩行者の衝突事故

2月8日午前11時ごろ、82歳の女性がジャン＝マセ付近を歩行中にペラーシュとサン＝プリエストを結ぶトラム・ウェイT2線と衝突した。調べによると、この女性はトラム・ウェイが接近しているのに気がつかずに線路を横切り、歩行者に気付いたトラムの運転手がブレーキをかけたものの避けきれずに衝突したものと見られている。女性は頭部を強く打ち、運転手もショックのため病院に搬送された。これによりおよそ30分間同線のペラーシュ－ジャン＝マセ間は不通となった。(プログレ紙2月9日付)

麻薬所持、取引の検挙相次ぐ

- 1月末にヴェニシュ市で行われた車両検閲において513グラムのカナビス樹脂を所持していた3人組の若者が逮捕された。リヨン3区、6区警察の麻薬取り締まり班が捜査を続けた結果、この若者らはリヨン8区で最近広がっている麻薬取引に関与していたことが判明した。(プログレ紙2月7日付)
- 2月はじめ、リヨン南プリニエ市で23歳の男の住居にてエクスタジー錠剤およびカナビスの栽培施設が発見された。暖房のための室内ランプや換気扇、タイマーなどが使用された本格的な栽培で20株のカナビスが押収された。(プログレ紙2月4日付)
- 2月9日、高速道路A7線ヴィエンヌ南部で行われた検閲により、26歳のスペイン在住のモロッコ人男の乗った乗用車の燃料タンクの中から22キロのカナビスが発見された。(プログレ紙2月11日付)

- 2月末にモンペリエ地方とリヨン地方を中心として活動していた麻薬取引組織が摘発された。昨年8月から行われていた調査で、すでにエクスタジ-500錠が押収されたのをきっかけに、リヨンに麻薬をストックする組織があることが判明。2月末に家宅捜査を行ったところリヨンにて5人、モンペリエ地方で7人が逮捕され1万5,000錠のエクスタジ-および他の麻薬が押収された。これらの麻薬はリヨンの夜の繁華街にて販売されていたと見られている。(プログレ紙2月25日付)
- 2月26日午前3時30分ごろ、フェザン市の工業地区で4人の若者が車のそばで話しこんでいるのを不審に思ったパトロール中の憲兵隊が職務質問を行った。その結果、4人は近くの運送会社に属する休憩中の従業員であることが判明。憲兵隊は立ち去ろうとした。ところが、このうち一人の車内からカナビス樹脂100gが発見された。車の持ち主である23歳の倉庫係が麻薬所持で起訴される。(プログレ紙2月28日付)

サッカーの試合に関する暴力事件

- 2月3日、リヨン南のヴァール(Vourles)市で行われていたアマチュアサッカーの試合中、観客の一人であった44歳の男が30歳代の男性に刃物で切りつけた。被害者の男性は5日間の就業禁止を伴う怪我を負った。同試合の審判の判定をめぐる口論が原因と見られる。(プログレ紙2月5日付)
- 2月20日ジェルラン競技場で行われたOL-マンチェスター戦に際して、50名ほどの観客が不審尋問を受けた。そのうちの大部分が試合前に場外のダフ屋から購入した偽チケットで入場しようとした観衆。30から200ユーロを支払ってダフ屋から購入したチケットのほとんどは偽チケットで、被害者らは夜のうちに釈放された。その他に3人のイギリス人を含む7人が投石や柵を投げつけるなどの暴力行為で警察に連行された。(プログレ紙2月22日付)

またもや危険な犬による被害

先月にもボージョレー地方で幼児が犬に噛み殺される事件を報告したが、今月もローヌ=アルプ地方で一件の事故が報告されている。

- 2月11日午後2時30分ごろ、アン県で70歳代の男性が第2カテゴリーの犬に襲われ重症を迫った。男性が一人で歩行中、若いカップルがアメリカン・スタッフォードシャーを散歩に連れ出そうとしているのに出くわした。口籠もリードもつけていなかったこの犬は突然男性に襲い掛かった。まずは腕に噛み付き、被害者が地面に倒れこむとさらに顔面に繰り返し噛み付いた。驚いた飼い主がようやく犬を制止し、被害者は駆けつけた救急隊員によって病院に運ばれた。男性は重症を負ったが、命に別状は無かった。この犬は危険な犬の第2カテゴリーに属しており、口籠とリードの着用が義務付けられている。(プログレ紙2月12日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

今月は特に具体的な事件は報告されていない。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

パール・デュール付近でガス爆発事故

2月28日正午ごろ、リヨン3区と6区の境目ラファイエット通り117番地で大規模なガス爆発事故が発生した。これにより、建物の避難誘導を行っていた消防士一名が死亡。約40人が重軽傷を負った。事故現場付近で行われていた道路工事の際にガス管が損傷したのが原因と見られている。再爆発の危険性および建物崩壊の危険を避けるため、避難命令が出された。29日も付近の道路は通行禁止となっている。(プログレ紙2月29日付)

トレブー(TREVOUX)の中学校で髄膜炎

トレブー市の中学校で1月中旬に一人の生徒が髄膜炎にかかっているのが発見された。同生徒と直接接触のあった生徒、教諭らはただちに予防ワクチンの接種を受けた。その後1月末に同中学校の別の生徒が髄膜炎にかかっているのが判明し、父兄の間では何故全校を対象にワクチン接種を行わなかったのかという声上がり、最終的に全校がワクチン接種を受けた。2人の生徒は回復に向かっているという。毎年フランスでは約700人が髄膜炎にかかっており、感染の危険は非常に低いとされている。(プログレ紙2月6日)

付)

フルビエールのトンネル、大型トラック通行禁止

2月15日より、周辺41市町村の運送会社に所属するトラックを除いて7.5トン以上のトラックのフルビエールトンネル通行が禁止となった。また、環状線北回り(péripherique nord)のトンネルは19トン以上のトラックが通行禁止に。これを受けてロカード(Rocade)の交通が混乱するとして反対の声が高まっている。(プログレ紙2月15、16日付)

リヨン・ブロン新産婦人科・小児科病院(HFME)オープン

先月から引越し作業の始まっていたリヨン・ブロンの新病院が2月12日にオープンした。4月1日まではデブレース、エドゥアード・エリオット、リヨン南各病院の産婦人科および小児科すべての機能、人員が集結される。この新病院は1億7,800万ユーロが投資され、452床、2009年末までには4,000件の出産があると見られ、8つの分娩室、300名の医師および外科医が勤務する。(プログレ紙2月12日付)

全国でハイパーマーケットの従業員によるストライキ

2月はじめ、全国のハイパーマーケットの従業員らが労働条件の向上と給与値上げを要求して一斉にストライキを行った。これを受け、ローヌ=アルプ地方のハイパーマーケットでもデモ行進や閉鎖などの運動が見られた。(プログレ紙2月2日付)

5.その他の情報

デシーヌ(DECINE)市の犯罪率

犯罪率が高いように思われがちなデシーヌ市は、実はそれほど犯罪率の高い市ではない。2007年度の統計を見ても、犯罪数は2006年度に比べて19%減の1,522件にとどまっている。内訳としては公道での軽犯罪がマイナス17%、空き巣はマイナス27パーセントで221件から161件に、車の盗難はマイナス31%で113件から78件に減少している。(プログレ紙2月15日付)

リヨンの違反車両置き場の従業員ストライキ

2月26日より、リヨン・ジェルランの違反車両置き場の従業員ストライキが続いている。これは彼らの雇用主であるGefa社とリヨンの契約が2月末に切れるのに際し、3月以降にリヨン市と契約を結んでいるGDL社とGefa社間のもめごとにより、従業員全員が解雇処分になることに反対して行われている。(プログレ紙2月27日付)

微粒子による大気汚染続く

先月、ローヌ県下で出された大気汚染警報は2月はじめに解除となったが、11日にふたたび汚染警報が出された。幹線道路の制限速度が時速20キロ減速になったほか、体の弱い住民は激しい運動などは避けるように注意していた。この警報は19日に解除された。(プログレ紙2月19日付)